

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

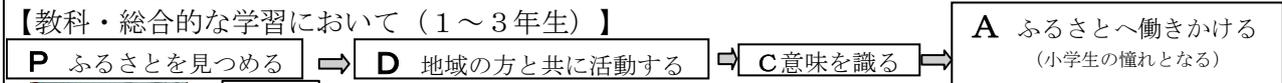
市町村名	岐阜市	学校名	岐阜市立東長良中学校			
校長名	服部 吉彦	対象学年	全校	人数	555	人
活動名	ふるさと学習 (教科と連動した総合的な学習)	時間数	1年50, 2.3年70	時間	継続年数	2年
題材	①自然環境 [長良川・天神川・ヒメボタル・つぶらじい・百々ヶ峰・金華山] ②歴史 [デレーケ・岐阜城・護国之寺・天神神社・古墳・松尾池・地蔵様] ③文化 [鶺鴒・おくわさま・九官藪・おばば・山の子・竹林物語] ④地場産業 [竹細工・まつあんの和菓子・ぎふうちわ・長良川温泉] ⑤地域との積極的な関わりをつくる活動 [防災訓練・東長良サミット] ⑥教科学習との連動による専門性の学び [鶺鴒大橋・ふるさと紹介]					
複数年継続するための工夫改善	1 地域素材を取り入れた年間カリキュラムの作成 (教科・総合的な学習) 2 人材バンクの設立による地域の人々の学校教育活動への参加 3 各学年テーマによる学びの体系化と地域に開かれた教育課程の改善 4 小中一貫教育に立った「東長良中学校区ふるさと学習推進協議会」の開催					

1 ねらい

○ふるさとを愛し、ふるさとの一員として、
自らのかかわり・つながりを実感できる生徒の育成

2 活動の概要

【教科・総合的な学習において (1～3年生)】



ウェブ
ピング・
マップの
作成



ふる
さと
と
民
話
の
弾
き
を
聞
く。



民
話
を
調
べ、
地
域
を
知
る。



紙芝居を
長良小2
年生に聞
いてもら
ったり、
説明会を
主催した
りする。

【生徒主体の活動】

① 「つながる一む (教室)」の運営



「ふるさとについて学
べる部屋がほしい。地域
の方とつながりをもてる
部屋がほしい。」そんな生
徒の願いをもった生徒た
ちが、自分たちと地域の
人とで部屋を創り上げて
いる。

② CTH (地域清掃活動)
座談会



26年続いているCTH
について、立ち上げた当
時の方々と、現在の生徒
会執行部が意見交換会を
行い、当時の思いと今後
の歩みを考え、地域との
つながりを自覚した。

③ 生徒会長の働きかけに
よる「地域合唱
公開」の開催



全校生徒と地
域の方々が
「ふるさと」
を一緒に歌
い、学校と地
域が一体感を
味わった。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 (例)

- 【1年生：ふるさとを識る】 → 地域の方から水との闘いの歴史を学び、団結の必要性があることに気づき、防災倉庫の観察などから、今の地域に適合した防災方法を提言する。
- 【2年生：ふるさとから学ぶ】 → 地域食材のブロッコリー栽培を通し、長良の気候を再認識するとともに、ブロッコリーを使ったレシピを地域に発信する。
- 【3年生：ふるさとで考える】 → 東京の伝統文化を調べる活動を通し、ぎふの伝統文化 (鶺鴒等) への興味関心を高揚し愛着を深め、ふるさとの活性化について提案する。

4 活動を通しての児童生徒の変容

【鶺鴒大橋の学習 (理科) の感想】 「ふるさと学習で調べてくる中で不思議に思ったことをそのまま調べられてよかった。地域の方の話で、なぜこのような構造になっているのかもわかってすごく価値のある学習活動になりました。」

【生徒アンケートから】 ①「総合的な学習」のテーマである「ふるさと」を各教科であつかうことは、役立つことである。→ 86% ②「ふるさとを教材にした学習内容」 → おもわず話したくなる：89%
実際に家族に話した：81% (7月アンケート実施)